



家庭学習の手引き (中学生)



《約束》

- 1 毎日進んで取り組みます！ (主体的に取り組むことで 学ぶ習慣を身につけます)
- 2 分かるまで繰り返し取り組みます！ (確かな学力にするためです)

～家庭学習の仕方～

- (1) 毎日決めた時間<目標：学年+1 時間>以上机に向かいましょう。
- (2) 宿題は必ずする。自主学習ノートや英語のBノートは毎日提出しましょう。
- (3) 毎日の宿題がただやっているだけにならないように、内容も中学生らしい内容にしましょう。
- (4) ワークや問題集の提出期限をきちんと守りましょう。また、間違ったところや分からなかったところをそのままにせず理解するまで考えましょう。
- (5) テレビや漫画を見ながら、音楽を聴きながらの学習は絶対にしてはいけません。

◎効果的な勉強の進め方

(1) スケジュールを立てよう。

勉強する内容をはっきりさせます。次に、いつまでにどのポイントをするかを計画します。間違っても「今日は3時間以上勉強する」だけで計画を立てたつもりにならないようにしましょう。「時間を設定するより、内容をしっかり決めることが大切です。」

(2) やる気を出して取り組もう。

家庭や自分の部屋には様々な誘惑があります。目的意識をもって勉強するのともたないで勉強するのでは効果が違います。「同じ時間を使うのであれば集中して勉強しましょう。」

◎予習と復習をしっかりしよう。

勉強方法の基本は、予習→授業→復習です。これを繰り返し行えば効果があります。では、予習と復習の方法を紹介します。しっかりと読んで、実践してみてください。

(1) 予習の方法

教科書を3回以上読みましょう！

- 1 回目はそのまま読みましょう。
 - 2 回目は読んで分からないところは鉛筆で線を引きましょう。
 - 3 回目は読んで分からないときには、その部分を自分で調べましょう。
- 調べても分からないときには、次の授業でその部分を集中して聞いて理解しましょう。

(2) 復習の方法

①□その日に学習したことを、しっかり覚えよう。

できるだけ記憶が確かなうちに早くしっかりと復習し、寝る前にもう一度覚えなおすと効果的です。また、翌朝見直すと更に効果が上がります。

②□その週に学習したことを、もう一度覚えよう。

その時にはしっかり覚えたつもりでも、何日か経つと忘れることが多々あります。忘れてしまったことをもう一度覚え直すために行います。

③ □一ヶ月後に、もう一度覚えよう。

今までやったことの総復習です。①、②で覚えても時間が経つと忘れてたり、記憶が曖昧になってくるものです。それをしっかり覚え直しましょう。

☆各教科のメニュー

○国語

予習

- ・教科書を音読する。
- ・言葉の意味を調べる。

復習

- ・ノートをまとめ直す。

実力アップのために

- ・新聞のコラム欄をノートに貼り書き写す。
- ・漢字の書き取りを毎日続ける。

○数学

予習

- ・教科書を読む
- ・「例」「例題」を解く

復習

- ・授業で解いた問題をもう一度解く
- ・公式や大切な言葉をまとめる。

実力アップのために

- ・テストのやり直しをする。
- ・ワーク繰り返しをする。

○英語

予習

- ・教科書の新出単語を書く。
- ・教科書の本文を写す。

復習

- ・本文を音読する。
- ・単語を覚える。

実力アップのために

- ・文型ドリルで文型を覚える。
- ・ワークの問題集を解く。
- ・Bノートに自由英作文をする。
- ・ALTの先生に積極的に話しかける。

○社会・理科

予習

- ・教科書を読む。

復習

- ・ノートをまとめ直す。
- ・重要語句を書いて覚える。
- ・問題集を解く。

問題集の使い方

- ① 普通に解く。
- ② 採点をし、間違えたところにチェックする。
- ③ 最後のページまで終わったら、最初に戻る。
- ④ 1回目に間違った問題だけを解く。
- ⑤ すべての問題が正解になるまで②～④を繰り返す。